

酷暑の夏休みが終わり、2学期が始まります。この夏休みには、大阪府でふたりの中学生の命がなくなるという悲惨な事件が起こりました。学校では、子どもたちに自分の身を守る力をつけさせるために、行政や警察、民間会社などの出前授業を活用してきました。大切な子どもたちが被害者にも加害者にもならないように、今後も、子どもたちの自己危機管理能力を高めるための手立てを、保護者・地域の方々とともに考えていきたいと思ひます。

あいさつする子
しっかり学ぶ子
たのしく遊ぶ子

○豊かな心を育みます **平和について考える日 8・6登校**

平和登校日には、ヒロシマの原爆投下時刻の8時15分に全員で黙祷をささげました。各学年でDVD等を見て、戦争と平和について考えました。終戦から70年の月日が流れたなか、戦争体験のない私たちも、平和の大切さを子どもたちに伝えていかななくてはなりません。子ども達が、大人になったときに、次の世代に平和の大切さを伝えてくれるよう、平和学習を進めていきます。



学級懇談会に参加しましょう 9/24

9月24日は、3・4・5時間目に授業参観が、6時間目に学級懇談会があります。学級懇談会に、より多くの保護者の方に参加していただけるよう、各学級のPTA運営委員さんが、内容を検討しています。

各学級で子どもたちの学校生活や行事などでの様子をスライドショーで紹介した後、1～4年生は、事前のアンケート調査で希望の多かったテーマで話し合います。5年生は夏休みのキャンプでの様子を中心にした話、6年生は修学旅行の説明を行います。是非、参加してください。

○きぬちゃんのお母さんが、きぬちゃんをまもるために、自分がしんでもいいから、きぬちゃんをにがして、自分がやけしんだのがかなしかったです。だから、せんそうはしたくないと思ひました。けんかのときは、自分の意見を言ひます。そして、人の意見もききます。(低学年)

○たった一発で人々の命をうばってしまう原子爆弾を絶対作ってはいけなし、戦争を絶対したくないと、毎年思ひます。国と国がけんかすると、大好きで愛している大切な人が死んでしまうので、戦争が起こらないように、これから私ができることはどんなことだろうとしっかり考えたいと思ひます。(中学年)

○昔は、日本と他の国と戦争をしていたので、たくさんの命がうばわれました。今も、日本のニュースを見ると殺人やいじめが起こっています。昔の人は、死にたくて死んだわけではない、戦いたくて戦ったのではないということと思うと、殺人やいじめはよくないと思ひます。そういうことが起きなくて戦争がなく、みんなが幸せにいけることが平和だと思ひます。(高学年)

○私は、「夏服の少女たち」というビデオを見て、平和の大切さがわかりました。そして、原子爆弾は、一瞬にして、何もかもふきとばし、何十万人の命を終わらせてしまうと思ひました。生きのびた人の中でも、差別や偏見、後遺症に苦しんだ人もいとわかりました。「夏服の少女たち」にでくる中学生は、作業をしていた800m先に原子爆弾がおちました。その若い命をためらうことなく、一瞬にしてうばうところに、原爆のおそろさを感じました。平和への誓いで言っていた「大切な人を失う悲しみ」はどれだけかなしいのかわかりました。(高学年)

○豊かな心を育みます 7/29～30

力を合わせた5年キャンプ

晴天の中、5年生は、府立海洋センターでカッターやOPヨット、いかだ作りなどを体験しました。どの活動も、みんなで協力し合わなければ成り立ちません。5年生は、海洋センターの指導員の方々に話を聞く態度や行動の素早さをほめてもらいました。家庭や学校から離れて、友だちと生活する2日間で、子どもたちは、多くのことを学んだと思ひます。



市PTAソフトボール大会・バレーボール大会で活躍

6/28のソフトボール大会、8/2のバレーボール大会に、東山チームが参加し、活躍しました。



○豊かな心を育みます ○教職員の資質向上 8/26

子ども理解について 三ヶ山学園と合同研修

子ども理解を深めるために、三ヶ山学園こどもデイケアいずみ施設長の長富義隆先生の講話を聞きました。この研修会は、三ヶ山学園の職員の方々と合同で行いました。「不適切な行動の理解と対応」というテーマでしたが、具体的な例をあげていただき、大変わかりやすいお話でした。また、その後、低中高学年ブロックで分科会をもち、子ども理解に向けて有意義な研修となりました。

長富先生のお話から(子育てに参考になります)

○行動には、「こっちむいて」「もう疲れた」「教えて」「これでいい？」などのメッセージがある。

○好ましい行動をしているときに、**肯定的な注目**(ほめる・喜ぶ・感謝するなど)を与え続けることで、好ましい行動をふやす。好ましくない行動をしているときに**否定的な注目**(叱る・非難する・問いただすなど)を与えると逆に強化してしまう。反応せずに、やめたらすぐほめるといい。

○ほめ方のコツ ①タイミング:100%終わるまで待つとほめる機会が減るので、**25%ずつほめる**。②視線・体:子どもの目線まで自分の高さを下げる。③表情:**明るい表情**。笑顔が難しければ、穏やかな表情で。④声の調子:温かみのある明るい声で。⑤ことば:**シンプルに**。皮肉は×。⑥行動をほめる:**できている行動を具体的に**。⑦効果的にほめる:その子に応じて「人前で大げさに」「人知れずそっと」ほめる。



乗用芝刈機での芝刈り(緑の会)

リバー産業株式会社様が貝塚市に東山小学校芝生関係備用品用としてくださった寄附金を活用して、乗用芝刈機と保管庫を購入していただきました。ご寄附ありがとうございました。8月25日に、運動場の芝生管理をしてくださっている「緑の会」が、その乗用芝刈機を使って、早速、芝刈りをされました。

「緑の会」では、5月から10月まで肥料まきや芝刈りなどの活動及び年2回のグリーンパークの行事を行っておられます。常時、会員を募集していますので、希望される方は学校に連絡ください。

